

単位についてのご案内

①日病薬病院薬学認定薬剤師制度 研修単位シール（日本病院薬剤師会）

（1日目参加：2.5単位、2日目参加：2.5単位）

※現地参加のみが対象となります。WEB参加のみの場合は単位の付与はございません。

※下記②とは重複取得が出来ません。

※シールは1日単位で当日のみ配布いたします。

(1)配布場所

単位登録受付（創立130周年記念館内）にてシールをお渡しいたします。

(2)受付時間

6月10日（土）	15：30～18：30
6月11日（日）	14：00～17：00

再発行や当日分以外の配布は行いませんのでご注意ください。

②京都薬科大学生涯研修認定薬剤師制度 研修単位シール（G24）

（1日目参加：2単位、2日目参加：2単位）

※現地参加のみが対象となります。WEB参加のみの場合は単位の付与はございません。

※上記①とは重複取得が出来ません。

※シールは1日単位で当日のみ配布いたします。

※今回発行する単位は日本薬剤師研修センター（G01）のシールではございません。

希望される方はご来場前に必ず「京都薬科大学生涯研修センターの会員登録」をお願いいたします。

※既に京都薬科大学生涯教育センターに会員登録されている方は手続き不要です。

会員登録はこちらから

<https://skc.kyoto-phu.ac.jp/member/entry.php>

会期当日、研修単位受付にて、京都薬科大学生涯教育センター会員QRコードを読み取り機にかざしてください。

※「日本薬剤師研修センター」のQRコードではございませんので、ご注意ください。

京都薬科大学生涯教育センター会員QRコードの表示方法は、こちらをご確認ください。

https://skc.kyoto-phu.ac.jp/uploads/manual-230401_2.pdf

単位受付場所：京都薬科大学 躬行館 1F ホワイエ

IN/OUT（入退場）の時間が必要となりますので、1日に2回QRコードをかざしていただく必要がございます。

受付日時		
6月10日（土）	IN（入場）	8:30～12:00
	OUT（退場）	15:00～18:15

6月11日（日）	IN（入場）	8:30～12:00
	OUT（退場）	15:00～17:00

退場の読み取りの際に研修単位シールをお渡しいたします。

再発行や当日分以外の配布は行いませんのでご注意ください。

会期後に、京都薬科大学生涯教育センター会員マイページに取得単位を登録します。

G24研修単位を日本薬剤師研修センター（G01）への新規・更新申請に使用する場合は、本学発行の受講証明書が必要です。マイページから受講証明書をダウンロードし、研修単位シールとセットで日本薬剤師研修センターに提出してください。受講証明書の発行方法はこちらをご確認ください。

https://skc.kyoto-phu.ac.jp/uploads/cert_manual.pdf?v=3

*京都薬科大学(G24)は、日本薬剤師研修センター同様に薬剤師認定制度認証機構(CPC)の認証を受けた機関です。

日本薬剤師研修センターはPECSの認定申請の際に必要な単位の5割以内を京都薬科大学含む他の認証機関の単位で申請可能です。

③医薬品情報専門薬剤師、医薬品情報認定薬剤師の更新認定単位について

JASDI 研修委員会

第25回日本医薬品情報学会学術大会で実施されます、教育講演及びシンポジウム等を対象としまして、受講による単位認定を行います。対象プログラムは以下の通りです。

医薬品情報専門薬剤師、医薬品情報認定薬剤師の更新のための対象プログラム		
6月10日	シンポジウム1	医薬品情報を構造化する！ ～サステナブルな構造化された医薬品情報への取り組み～
	シンポジウム2	改訂コアカリで求められる医薬品情報学の能力と効果的な教育実践の共有
	シンポジウム3	集中治療における医薬品情報活用のノウハウ ～決断するために必要な情報とは！？～
	シンポジウム4	医療現場において新医薬品をどのように評価したら良いのか
	シンポジウム5	電子添文(e添文)の活用イノベーションに向けた現状と課題
	シンポジウム6	医療用医薬品の販売情報提供活動に関するガイドラインへの対応とMRの存在意義
	教育講演1	医薬品情報のインフォデミック対策で薬剤師はいかに行動すべきか
	教育講演2	医薬品情報学研究の最前線
	教育講演3	医療情報の共有と活用

6月11日	シンポジウム7	医薬品の適切なリスク管理のために何をしていますか？ ～RMPの適切な利活用を目指して～
	シンポジウム8	小児医療に対する医薬品情報のこれから
	シンポジウム9	どうする、外国人患者へのリスクコミュニケーション ～外国人対応の実際から、今後の展開を考える～
	シンポジウム10	シン・トレーシングレポート～薬剤情報連携の課題と今後の展開～
	シンポジウム11	「世界患者安全チャレンジ：ケアの移行期の薬剤安全」を薬薬連携・ICT活用から考える
	シンポジウム12	周術期医療における医薬品情報活用のノウハウ
	シンポジウム13	有害事象自発報告データベースを上手く使った研究や業務への活かし方と課題
	シンポジウム14	中小病院のDI室ってどうしたらいいの？ ～サステナブルなDI業務を紡ぐには～
	教育講演4	製薬医学2030：医療が多様化・個別化するデジタル社会における医薬品情報
	教育講演5	医薬品情報を活かすためのコミュニケーション能力を育てる
	教育講演6	医療ビッグデータを用いた医薬品等の安全性評価（薬剤疫学）について

注：同時刻開催のシンポジウムは1つのみ認定対象とします。オンデマンド配信についても対象としますが、同時刻開催の扱いは同じです。

認定申請の手順

- ① 上記対象プログラムを受講され、単位認定を受けたい場合は、まず研修委員会宛に、単位認定を受けたいプログラムと番号をお知らせください。
メールタイトル：更新単位認定依頼
メール内容：認定を受けたいプログラム
（例： 教育講演 1、シンポジウム 5 等、上記をみて間違わないようにお願いします）
送り先：kensyu-report@jasdi.jp
尚、メールの受付は、大会終了後の6月12日から受け付けます。
- ② 研修委員会では、各シンポジウムを受講し、各シンポジウムに一つキーワードを決定しておきます。このキーワードの記載されたレポート用紙を返送します。
- ③ レポート用紙を利用してレポートをお書きください。この中に、キーワードに関する内容で受講された内容を必ず含めてください。
- ④ PDFで研修委員会に送付してください。送付の際は、ファイルにお名前とシンポジウム番号を必ず記載してください。（例 東北花子_シンポジウム 5 .pdf）
複数提出される場合は、必ず別々のファイルにしてお送りください。
- ⑤ レポート提出の締め切りは6月23日とします。締め切り以降は受け付けませんのでご注意ください。